

柳川市民文化会館「水都やなごわ」

「掘割ファースト」の景観デザイン

福岡県有数の観光地である水郷柳川の掘割に面した敷地に建つ劇場建築と広場の計画です。柳川の掘割は、約2000年前に人々が手で掘り、農業用水、防火用水、洗濯などの生活用水として、柳川の人々の暮らしに根付いてきました。また掘割そのものが治水機能を持っており、柳川のまちを水害から守る環境装置にもなっています。柳川では常に、掘割からの視点や、水面に映り込む風景がまちの景観アイデンティティとして大切にされており、私たちは掘割の環境や景観を最大限に活かすことが、この場所ならではの建築・広場になりうると考えました。

This is a plan for a theater building and a plaza to be built on a site facing a canal in Yanagawa, one of Fukuoka Prefecture's leading tourist destinations. The canals of Yanagawa were dug by hand about 2,000 years ago, and have taken root in the lives of the people of Yanagawa as water for agriculture, fire fighting, and washing. In addition, the canal itself has a flood control function, and it is an environmental device that protects the city of Yanagawa from flood damage. In Yanagawa, the viewpoint from the canal and the scenery reflected on the surface of the water are always valued as the landscape identity of the town. We thought that maximizing the environment and landscape of the canal could create a unique architecture and plaza for this place.

■「水上に浮かぶ柳川の舞台」白秋祭からのインスピレーション

建築と広場の設計コンセプトである「水上に浮かぶ柳川の舞台」は、柳川市で毎年行われる「白秋祭」から着想を得ました。掘割をどんこ舟で進むにつれ、水上の仮設舞台に次々と地域伝承の音楽や舞が現れ、観客である舟のほうから掘割の中をゆくりと進んでいき、見ているのが見られているのか、その関係は反転して移り変わり、まち全体がひとつの劇場空間となっているような一体感を感じることができます。

見る見られるの関係が掘割を介してまちに連続し、移り変わり、建築のみならず、外部空間も市民が主役の劇場空間となるような広場を目指しました。

■柳川の記憶を継承し、広場・掘割・まちへと繋がるホール

柳川の伝統的な住居構成を引用した建物配置により、掘割と生活の関係性を継承することで、建築と掘割の中間領域となる広場と遊歩道をつくりました。かつてより市民の生活動線となっていた遊歩道の既存の樹木を活かしながら計画することで、遊歩道の機能と記憶を継承し、水に結ばれた活動・居場所空間として連続した一体感と親水性の向上に寄与しています。建築から掘割までのレベル差を利用した階段状のデザインは、それぞれの舞台を形づくると同時に、柳川の伝統的な生活空間である「汲水場（くみず）」を継承したモチーフとしており、用事がなくても気軽に訪れ、腰を下ろせる設えとなっています。

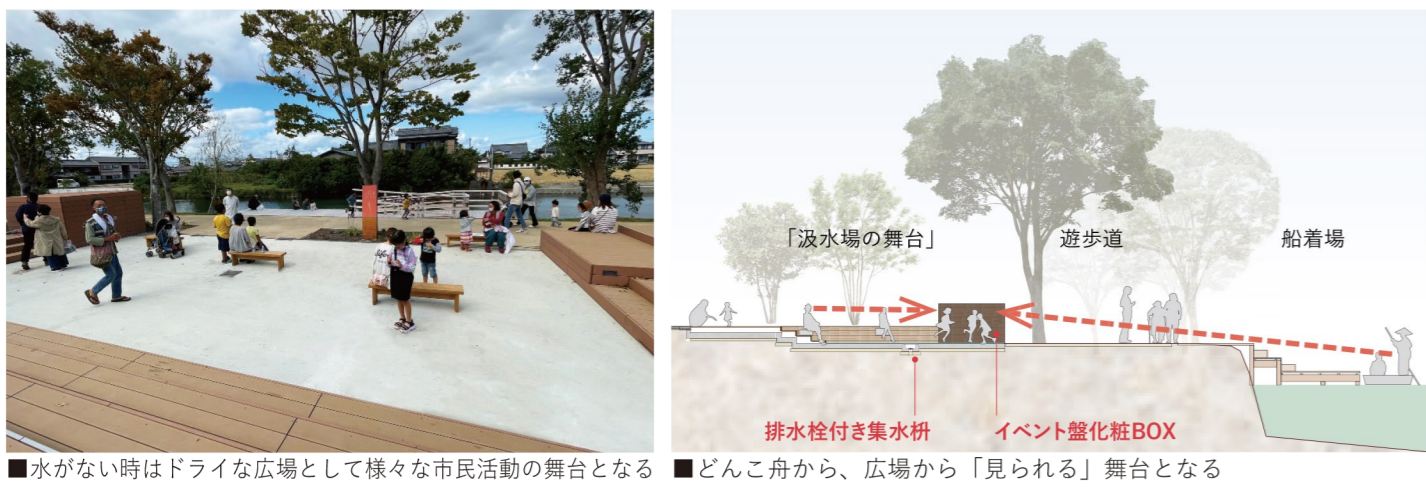
市出身の詩人北原白秋の名に因んだ「白秋ホール」は、客席後方、ホワイエの移動間仕切りを、大きく開放することで、舞台から屋外まで一体空間となり、ホール、ロビーの活動が外部の広場、掘割まで広がり、広場、掘割まで連続し、柳川のまちに連続する劇場空間、交流空間を創り出します。



■風景を映す環境装置「汲水場の舞台」

白秋ホールと連続する広場に設置された「汲水場の舞台」は、ドライな広場として様々な活動に利用できるとともに、薄く水を張ることができる構造となっており、これは、汲水場と掘割の水面の関係に見立てた風景を創り出します。

水盤の水面は柳川の風景を映し出す水鏡となると同時に、夏場には子供の水遊びの場としてクールスポットとしての役割を果たす環境装置となっています。人や風や落ち葉がづくります水紋が、風景になり、アートにもなっています。

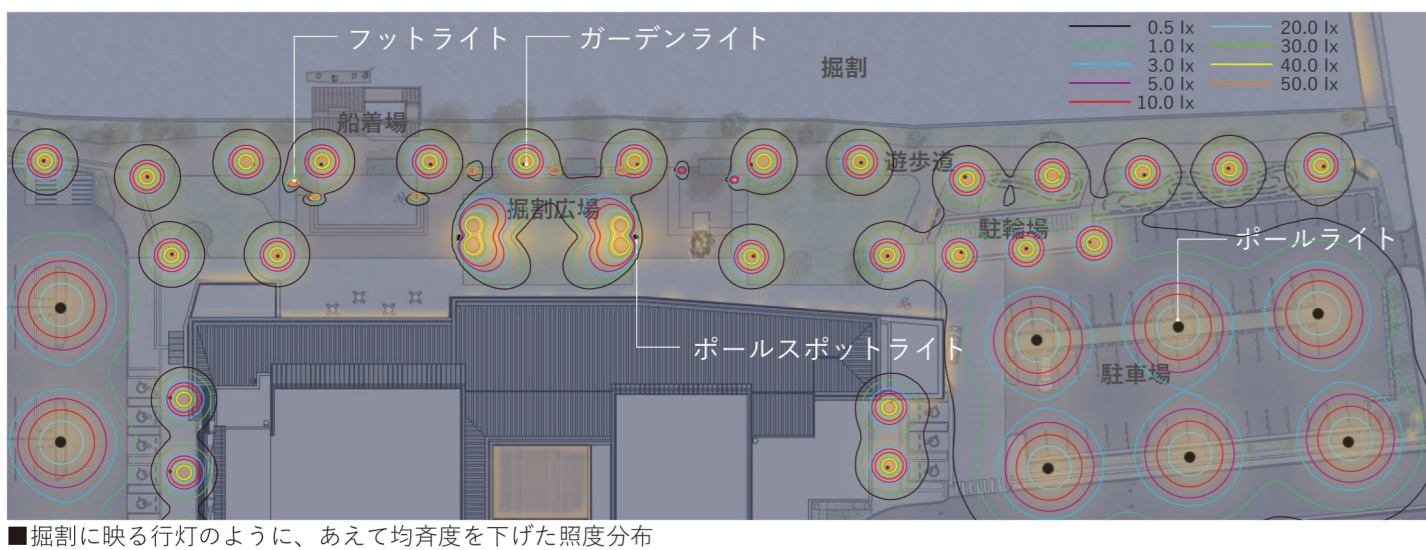


■掘割に映る行灯のような夜間景観

照明は、掘割への映り込み効果を考慮し、出来る限り懐かしい在り方として、水際に行灯のようなあかりが演出できるよう低いガーデンライトを中心に配灯しました。

また、掘割からの景観に配慮し、利用者が不安にならない程度に、あえて均斉度を下げた配灯としています。

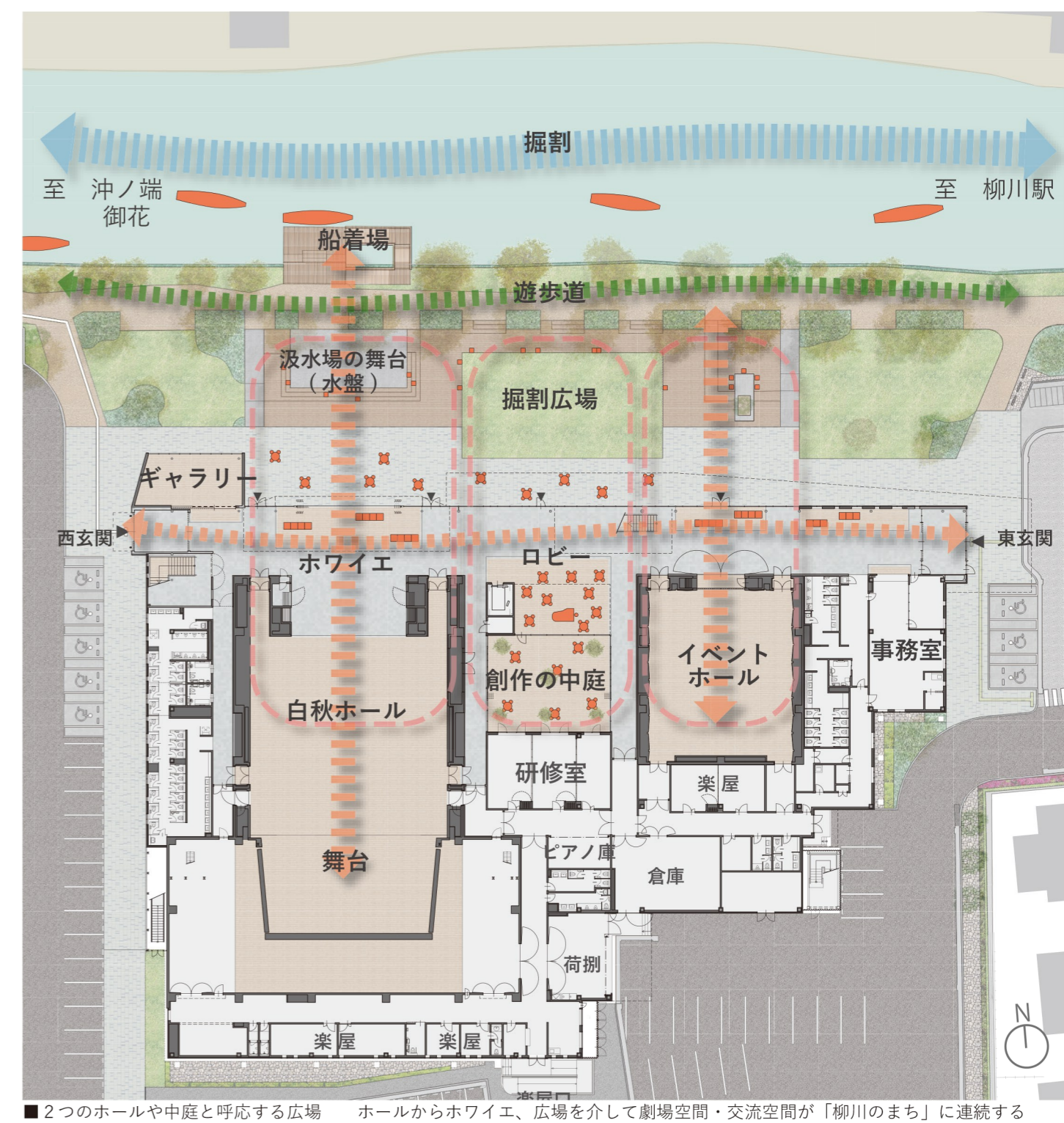
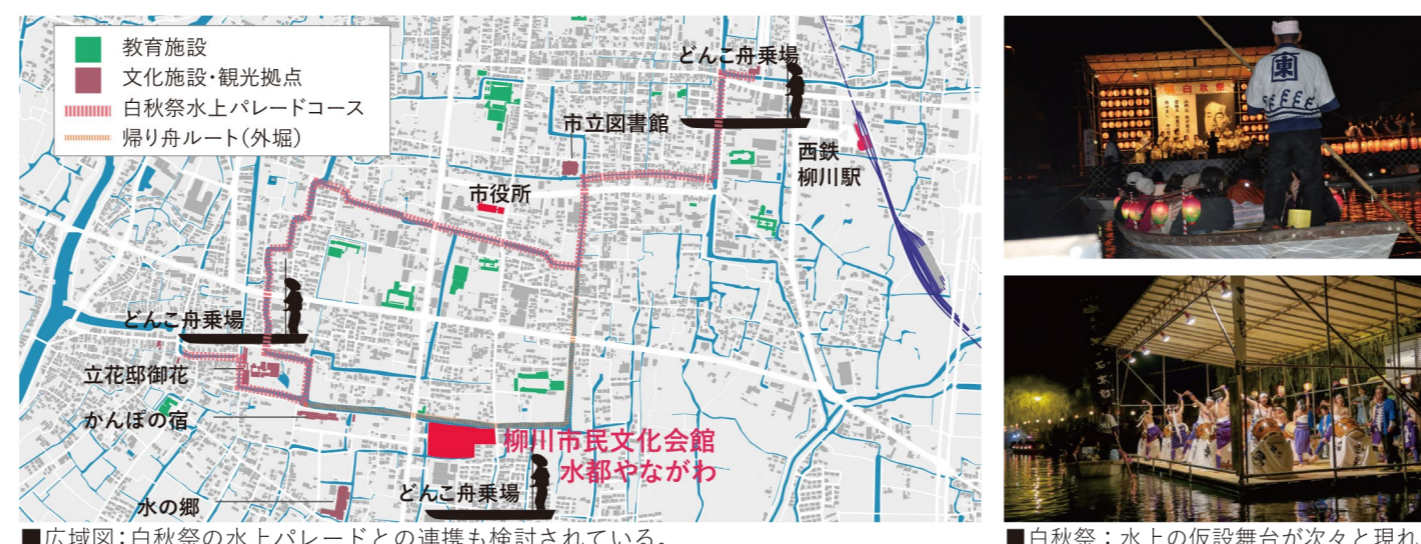
施工段階においては、どんこ舟の上から見え方の確認を行い、ガーデンライトの高さやグレア対策等の検討を行ない、掘割景観への最大限の配慮を行いました。



■市民がつくり、そだてる広場

使い手である市民の皆さんが用事が無くても気軽に立ち寄り、使い手自身が新しい使い方や居場所を発見できる設えが建築内外に散りばめられています。

ホール客席レイアウトやロビー、広場の使い方は、客席や大開口などの可動部を再現した建築模型を囲んで、市民が中心となって使い方の発見や自由なアイデアが議論され、今までの劇場の概念を超えた新しい市民活動の舞台として自走が始まっています。



■環境・デザイン評価表

評価項目	評価内容	評価結果
01 景観性	掘割に映る行灯のような夜間景観、遊歩道沿いの高さを抑えたガーデンライトが行灯のように水面に映り込む	2
02 利便性	掘割からの景観に配慮しグレアを軽減させるフットライト	2
03 創性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
04 集約性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
05 完成度	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
06 機能性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
07 安全性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
08 持続性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
09 安全性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
10 先導性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
11 環境負荷	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
12 地域連携性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
13 地域連携性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
14 12.1 特性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
15 先進性	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
16 4.5 14.32	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
17 24.1 23	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
18 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
19 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
20 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
21 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
22 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
23 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
24 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
25 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
26 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
27 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
28 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
29 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2
30 19.1 19.1	掘割に映る行灯のように、あえて均斉度を下げた照度分布	2

201 LCC
01 景観性
02 利便性
03 創性
04 集約性
05 完成度
06 機能性
07 安全性
08 持続性
09 安全性
10 先導性
11 環境負荷
12 地域連携性

A. 感性軸 (感性) B. 機能軸 (技術) C. 社会軸 (環境) D. 経済軸 (LCC)
Form Technology Environment Life Cycle Cost